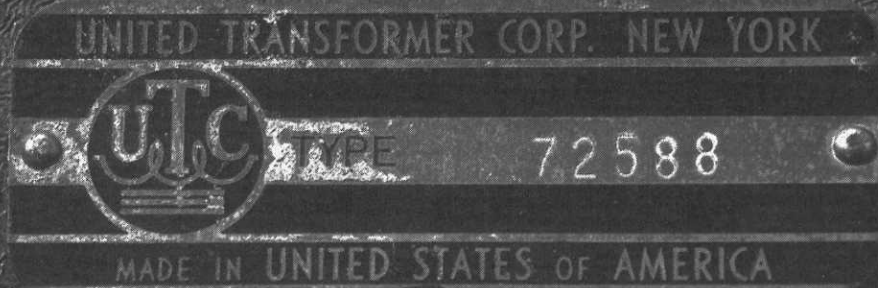


UTC72588 (S-8) ライン・トランスを使用した



6F6 (T)

シングル/
ライン・アンプの製作

新 忠篤

往時のアメリカン・サウンド が横溢する UTC のライン トランス

本年1月19日に開かれた恒例の「サウンド・バトル」(P&Cエレクトロニクス主催)はテーマがライン・アンプだった。30名の参加者が覇を競った。トーナメント式の勝ち抜き戦になり、決勝戦が行われたのは日ごとっぷり暮れた6時すぎだった。こんなに沢山の参加者がライン・アンプを作ってきたことに主催者も驚いていた。

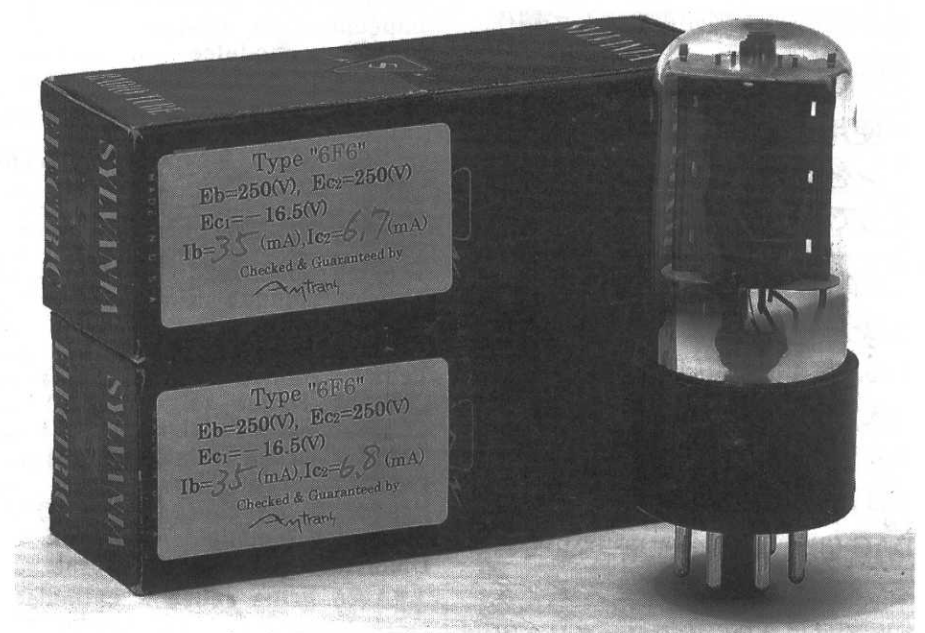
決勝戦に勝残ったアンプは桑原威夫さん製作のWE101D単段シングルと久保田純一さん製作の5881(T)プッシュプルの2台だった。私はいつものようにCDの音量調整を担当していて、各アンプの音質を細かに聴ける立場にあった。

決勝に残った2台のアンプは他にはない独特の包容力が感じられた。

それは終段の球の種類によるものだとばかり思っていた。「サウンド・バトル」が終わって一月も経った頃、この2台のアンプに共通項があったことに気がついた。それは2台共にラインアウト・トランスがUTC製

だった。桑原アンプはLS-50、久保田アンプはS-16である。

UTCのS-8ドライバ・トランスに500Ω巻線がついた72588トランス



◆本機に採用した Sylvania 6F6 はアムトランスの検査シールがついている

本機に使用したラインアウト・トランスは、本誌2002年9月号に発表した6N7プッシュプルB2級アンプ(古典球アンプの作り方楽しみ方-3に収録)に使用したドライバ・トランスである。UTCのS-8相当品だが、この72588には別に500Ω巻線がありラインアウト・トランスとして使用できることに目をつけた。

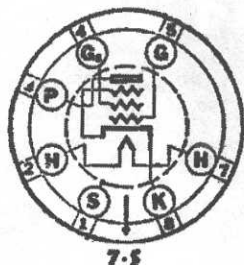
72588はドライバ管に6F6, 45, 89等が指定され、出力段はこれもAB2級動作の出力管が多数推奨されている。ここではそれには敢えてふれない。後日のテーマにとっておく。ただ前述の6N7はその一例である。このトランスは1次にDC45mAまで重畳できる。

出力段には6F6GTを起用した。ST管の42ファミリー管ならどれでも同一条件で使用できる。前段は6SN7の2段増幅で、中間にCR型のトーン・コントロール(T/C)回路を入れた。このT/Cは私が気に入っている回路でRCAのチューブ・マニュアルに掲載されていたものである。500kΩA型の可変抵抗器が一時市場から姿を消したためにしばらく作れなかったが、アルプス電気製の500kΩA型が再登場して製作可能になった。

使用者が必要なファンクションを備えるのは自作アンプならではの特権

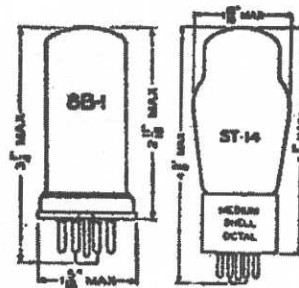
本機は私がライン・アンプに必要なと思うファンクションSWを備えている。第1図が全回路図である。

入力は3系統を2回路3接点のスナップSW(日本開閉器2040)である。私は普段(1)フォノイコライザ(2)DAC(3)CDプレーヤをつないでいる。3接点以上になるとスナップSWでは足りないのでロータリSWになる。



Sylvania TYPE 6F6 TYPE 6F6G

AMPLIFICATEUR DE PUISSANCE



CARACTERISTIQUES

	6F6	6F6G
Tension chauffage CA ou CC	6,3	6,3 volts
Courant chauffage	0,7	0,7 ampère
Ampoule	8B-1	ST-14
Culot : Moyen octal 7 broches	7-S	7-S
Position de montage	Toutes	Toutes

Conditions limites de fonctionnement. (Voir page 9) :

	Pentode	Triode
Tension chauffage CA ou CC	6,3	6,3 volts
Courant chauffage	0,7	0,7 ampère
Tension plaque	375	350 volts max.
Tension écran	285	— volts max.
Dissipation plaque	11	10 watts max.
Dissipation écran	3,75	— watts max.

Conditions de fonctionnement et caractéristiques :

AMPLIFICATEUR CLASSE A* (Un seul tube)

	Pentode		Triode
Tension chauffage	6,3	6,3	6,3 volts
Tension plaque	250	285	285 volts
Tension écran	250	285	... volts
Tension grille	-16,5	-20	-20 volts
Courant plaque (signal zéro)	34	38	31 ma.
Courant écran (signal zéro)	6,5	7	... ma.
Résistance interne	80,000*	78,000*	2,600 ohms
Conductance mutuelle	2,500	2,550	2,600 μmhos
Coefficient d'amplification	—	—	6,8
Impédance de charge	7,000	7,000	4,000 ohms
Puissance modulée	3,2	4,8	0,85 watts
Distorsion harm. totale	8	9	6,5 pour cent

* Valeurs approximatives.

AMPLIFICATEUR PUSH-PULL

CLASSE A1 CLASSE AB2

	Pentode	Pentode	Triode*
Tension chauffage	6,3	6,3	6,3 volts
Tension plaque	315	375	350 volts
Tension écran	285	250	— volts
Tension grille	-24	-26	-38 volts
Tension pointe B.F. (G à G)	48	82	123 volts
Courant plaque (signal zéro)	62	34	48 ma.
Courant plaque (signal max.)	80	82	92 ma.
Courant écran (signal Zéro)	12	5	— ma.
Courant écran (signal max.)	19,5	19,5	— ma.
Impédance de charge (P à P)	10,000	10,000	6,000 ohms
Puissance modulée	11	18,5	13 watts
Distorsion harmonique totale	4	3,5	2 pour cent

*Avec grille reliée à cathode.

◆ Sylvania 6F6のメーカー発表規格

